

くやくようである。

本品はエタノール (95) 又はジエチルエーテルと混和する。

本品は水にほとんど溶けない。

本品は弱酸性で、長く保存するか又は空气中に長くさらすと色が濃くなり、粘性を増す。

比重 d_4^{20} : 1.010 ~ 1.065

確認試験 本品 4 滴に硝酸 4 滴を加えて振り混ぜるとき、5 °C 以下で白色～淡黄色の結晶となる。

純度試験

(1) ロジン 本品 1.0 mL をエタノール (95) 5 mL に混和し、これに新たに製した酢酸鉛 (II) 三水和物の飽和エタノール (95) 溶液 3 mL を加えるとき、沈殿を生じない。

(2) 重金属 本品 1.0 mL をとり、第 2 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 4.0 mL を加える (40 ppm 以下)。

定量法 本品 5.0 mL をカシアフラスコにとり、亜硫酸水素ナトリウム試液 70 mL を加え、時々振り混ぜながら水浴中で加熱して溶かした後、目盛りまで亜硫酸水素ナトリウム試液を加え、2 時間放置し、析出した油分量 (mL) を測定する。

総アルデヒド (vol%) = [5.0 - (析出した油分量)] × 20

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

ケツメイシ

Cassia Seed

CASSIAE SEMEN

決明子

本品はエビスグサ *Cassia obtusifolia* Linné 又は *Cassia tora* Linné (*Leguminosae*) の種子である。

性状 本品は短円柱形を呈し、長さ 3 ~ 6 mm、径 2 ~ 3.5 mm で、一端は鋭くとがり、他の一端は平たんである。

外面は緑褐色～褐色でつやがあり、両側面に淡黄褐色の縦線又は帯がある。質は堅い。横切面は円形又は鈍多角形で、ルーベ視するとき、胚乳中に屈曲する暗色の子葉がある。

本品は砕くとき特異なおい及び味がある。

確認試験 本品の粉末をデシケーター (シリカゲル) で 48 時間乾燥した後、その 0.1 g をスライドガラス上にとり、内径、高さ各 10 mm のガラスリングをのせ、水で潤したろ紙でふたをし、徐々に加熱する。ろ紙の上面が黄色を呈したとき、ろ紙をとり、昇華物の付着する面に水酸化カリウム試液 1 滴を加えるとき、赤色を呈する。

純度試験 異物 本品は異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 5.0 % 以下。

ケンゴシ

Pharbitis Seed

PHARBITIDIS SEMEN

牽牛子

本品はアサガオ *Pharbitis nil* Choisy (*Convolvulaceae*) の種子である。

性状 本品は球を縦に四～六等分した形を呈し、長さ 6 ~ 8 mm、幅 3 ~ 5 mm である。外面は黒色～灰赤褐色又は灰白色で、平滑であるが多少縮んであらいしわがある。横切面はほぼ扇形で、淡黄褐色～淡灰褐色を呈し、質は密である。ルーベ視するとき、種皮の外面には短い毛が密生し、隆起線の下端にへそがくぼんでいる。種皮は薄く、外層は暗灰色、内層は淡灰色である。一端の横切面では不規則に縮んだ 2 枚の子葉があり、その間に背面の中央から隆起部に達する 2 枚の薄い隔膜がある。へそを有する他端の横切面では隔膜は認められない。子葉の切面には暗灰色の分泌物孔を認める。100 粒の質量は約 4.5 g である。

本品は砕くときわずかににおいがあり、味は油ようわずかに刺激性である。

灰分 6.0 % 以下。

ゲンチアナ

Gentian

GENTIANAE RADIX

本品は *Gentiana lutea* Linné (*Gentianaceae*) の根及び根茎である。

性状 本品はほぼ円柱形を呈し、長さ 10 ~ 50 cm、径 2 ~ 4 cm で、外面は暗褐色である。根茎は短く、細かい横じわがあり、その上端には芽及び葉の残基を付けることがある。根は深い縦じわがあり、ややねじれている。折面は黄褐色で、繊維性ではなく、形成層付近は暗褐色を帯びる。

本品は特異なおいがあり、味は初め甘く、後に苦く残留性である。

本品の根の横切片を鏡検するとき、通例、四～六層の薄膜性のコルク層に内接して数層の厚角組織があり、二次皮部の柔組織は不規則に師部を分布する。木部は主として柔細胞からなり、単独又は数個集まった道管及び仮道管を分布し、また少数の木部内師管が存在する。皮部及び木部の柔細胞中には油滴及び微細なシュウ酸カルシウムの針晶を含み、でんぷん粒は極めてまれに存在し、その大きさは径 10 ~ 20 μm である。

確認試験

(1) 本品の粉末をデシケーター (シリカゲル) で 48 時間乾燥し、その 0.1 g をスライドガラス上にとり、内径、高さ各 10 mm のガラスリングをのせ、更にスライドガラスで覆い、注意して徐々に加熱するとき、上のスライドガラスに淡黄色の結晶が昇華する。この結晶は水又はエタノール (95) に溶けないが、水酸化カリウム試液に溶ける。

(2) 本品の粉末 0.5 g にメタノール 10 mL を加え、5 分間振り混ぜて、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフ用ゲンチオピクロシド 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層ク